

私たちの町議会 りくべっ

No. 96

発行月日・平成31年4月19日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月6日から12日まで、その内4日間開かれました。今定例会では、専決処分の承認1件、平成30年度補正予算案7件、条例案3件、平成31年度当初予算案7件、その他1件を承認または可決し、閉会しました。

平成31年度 予算総額57億2,569万円

— 対前年度比3.2%減 改選期のため骨格予算での計上 —

当初予算質疑から

○歯科診療所について
(臨時歯科医師報酬など)

Q 荒川歯科医師が転出した後の診療体制はどうなるのか。

A 町民が心配していることは承知している。十勝総合振興局、保健所にも相談し、十勝歯科医師会のご協力により、公的な

歯科検診や学校の歯科検診に臨時歯科医師を派遣していただくことのお約束はいただいた。

後任の歯科医師探しについては、出来るだけ空白期間を作らないよう、鋭意努力しているところである。

Q この件について、町内の福祉施設への影響が懸念されるが、説明はしているのか。

A 歯科医師不在が長引く場合は、どこかの段階でお話ししなければならぬと思うている。

まめ辞典

「陸別歯科診療所」の歴史について

昭和55年10月11日の開設以来、建物や診療機器を町が整備し、民間に経営してもらった「公設民営」の運営形態をとっていましたが、平成13年11月1日から「民間経営」に変わりました。

現在、町は建物の所有者で、大家の立場となっています。

Q 歯科の特性として長期治療の方も多いため、その方々への対応は、

A 荒川歯科医師から最後まで責任を持って治療したいとの申し出を受けているので、今後協議して方策を考えたい。



平成31年度 各会計当初予算額

会計名	総額	前年度比	
一般会計	43億1,301万円	97.9%	
特別会計	国保事業勘定	3億9,140万円	92.5%
	国保直診施設勘定	3億3,118万円	97.7%
	簡易水道事業	1億6,692万円	71.8%
	公共下水道事業	1億7,782万円	111.1%
	介護保険事業勘定	2億9,574万円	94.3%
後期高齢者医療	4,962万円	113.6%	

○福祉バスの運行
運行状況と、バス更新の考えは。
Q 町主催イベントや、自治会、老人クラブなどの利用が年間50件程度で、走行距離は年間6千km程度。更新の目安となる、走行距離100万kmまでは余裕があり、しばらくは現車両を使っていきたい。

当初予算質疑

○タウンホール管理

Q 音響設備の更新が必要ではないか。

A 音響設備は、供用開始後、一度も更新していないが、使えるうちにそのまま使いたいと考えている。

Q 電子機器は進化も陳腐化も速い。この際、行事の都度、音響機器をリースする方法も検討してはどうか。

A 機器の更新については、リースの方法も含め、次期の陸別町総合計画の策定時に検討する。

○日産自動車購入助成
Q 予算化していないのか。

A 骨格予算のため予算は計上していない。なお、今後この助成制度を続けるかどうかについては、現時点では何も決まっていない。

○陸別消防署救急出動
Q 広域化後の出動状況は出ていないか。

A 平成30年度は128件、平成28年度、平成29年度はどちらも135件。

広域化後の救急態勢については、特に問題は出ていない。



補正予算質疑

○ごみ分別作業庫建設

Q 完成した作業庫の基礎と外壁の間に隙間があり、風雪の吹き込みが見られ、夏場はネズミ・ヘビなどの侵入も懸念される。

A 設計に問題があったのではないかと、速やかに確認し、問題があれば対処する。

平成30年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	1億2,566万円	46億6,727万円	
特別会計	国保事業勘定	1,160万円	4億3,594万円
	国保直診施設勘定	15万円	3億4,440万円
	簡易水道事業	△65万円	2億2,873万円
	公共下水道事業	△257万円	1億3,715万円
	介護保険事業勘定	△1,675万円	3億0,769万円
	後期高齢者医療	506万円	4,781万円



▲右の建物が新しいごみ分別作業庫です

有害鳥獣駆除

Q 国有林の入林規制により、一般狩猟によるエゾシカの駆除が減り、農業被害の増加が懸念されるが、本町の状況は。

A 陸別町が実施する有害鳥獣駆除であれば国有林にも入林可能であり、12月から2月にかけて、例年7〜8回行われている。

また、森林管理署による国有林内の有害鳥獣駆除も行われており、今年もそれなりの数のエゾシカが駆除されたと理解している。

第1回臨時会

3/26

補正予算案2件をそれぞれ審議し、可決しました。

○主な補正予算

バイオガスパラント関連事業補助金 3億円

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 専決処分の承認を求めることについて [北海道市町村総合事務組合規約の制定並びに廃止について]	承認
● 地方公務員法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
● 戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託について	可決
● 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決

新年度予算の主な事業

○ 防災行政無線「愛の鐘」の整備 2,508万円（継続）
〔屋外子局（スピーカー）3か所（共栄第1 緑町 新町1区）の更新〕

○ ふるさと銀河線りくべつ鉄道 車両のラッピング 50万円
（H30年度からの繰り越し予算）
〔NHK連続テレビ小説「なつぞら」のPRのため、期間限定のラッピングを施す〕

○ 第6期陸別町総合計画の策定（委託料） 460万円（継続）
〔平成32年度以降10年間の「まちづくりに関する最上位の計画」を策定〕

○ 日本ハムファイターズ応援大使事業 52万円（新規）
〔日本ハムファイターズのホームゲームでの「ヒーロー賞」を3回提供 / 今シーズンのオフに応援大使の「鶴岡慎也捕手」と「石川直也投手」を陸別町に招いて交流イベントを開催 ほか〕

○ 十勝バス及び北見バスの利用助成 312万円（継続）
〔乗車人数や年齢制限なし 陸別線の運賃の3分の2を助成〕

○ 防犯灯新設・撤去事業 192万円（継続）
〔LED防犯灯設置 若葉町 20基ほか〕

○ 陸別町デイサービスセンター送迎車両の更新（補助金） 387万円（新規）
〔20年以上経過し老朽化した送迎車両（車いす対応）を更新〕

○ 介護職員等資格取得・研修支援事業 30万円（継続）
〔対象となる資格を取得または研修を終了した町民に対し補助金を交付 補助率は経費の3分の1、上限は10万円（町内の介護事業所に勤務する等の条件があります）〕

○ 出産祝い金事業 440万円（継続）
〔第1子20万円～第4子以降100万円まで、交付要件に該当する方に祝い金を贈呈〕

○ 脳ドック受診への助成 37万円（新規）
〔必ず町を通して申し込む必要あり 医療機関は帯広市と北見市それぞれ1か所から選択可 自己負担額は受診する医療機関と年齢の区分により 7,000円～10,000円〕

○ 陸別消防署トイレの改修 223万円（新規）
〔人感センサーの交換 洋式トイレへの改修〕

○ 修学旅行費に対する助成 小学校16万円 / 中学校42万円（継続）
〔小学校は1人あたり1万円 中学校は1人あたり3万円を助成〕

○ 給食費無料化 保育所151万円 / 小学校518万円 / 中学校249万円（継続）
〔保育所は食材費を公費負担 小・中学校は給食費を全額補助〕

4人の議員が「般質問を実施」

本田 学 議員

これからの町づくり

Q 人口減により、移住者をどのように増やしていくのか、公住の空き家対策、イベントの継続や人手不足問題は非常に重要であるが、今後の取り組みは。

A 移住対策はもう一段ステップアップした対策が必要。公住の空き家問題は30戸以上減らす検討をしている。イベントの継続問題は過去にも乗り越えてきた。「継続は力なり」で何とかがんばってほしい。

人手不足問題は中々解決策が見つからない状況だが、産業界などと話し合いを続け、様々な角度から努力をしたい。

般質問を実施

Q バイオマス事業の今後の取り組みと、

町民の理解を得るための情報発信について、町長の考えは。

A 町長

昨年11月に発電会社、今年1月にふん尿処理会社が発立され、事務関係は農協に委任されている。

陸別町にとって必要な事業であり、農業者や町民にしっかりと説明をしていきたい。

Q 高速道路の開通を

見据え、道の駅がどうあるべきかを考え、情報発信の拠点の整備を行い、来町者を迎え入れる準備をしていかなければならないのではないか。

A 町長

今のところ道の駅の改築等は考えていないが、高速道路がつながることによって来町者が増えることも予想され、今後検討していく必要がある。

ないが、高速道路がつながることによって来町者が増えることも予想され、今後検討していく必要がある。

これからの教育

Q 「陸別の子は陸別で育てる」ということで、ふるさと教育、そ

して小中一貫教育を開始する31年度は非常に大事な1年になる。

子ども達の教育はもちろん、先生方にも陸別町をもっと知ってもらい、町民と交流を深める必要があるのではないか。

A 町長

キャリア教育や体験学習などを通してふるさと教育を実施し、陸別町の良さを知ることに取り組んでいる。

教員は、陸別が特例校ということとで4年で転勤となるが、資質向上のための自己研修について、どのような方法があるか検討したい。

一生この町に住める町づくり

Q 役場内の課を超えてプロジェクトを作り、職員がこれからの陸別町はどうあるべきかを考える場を設けてはどうか。

A 町長

職員を有効に使うことも必要。第6期総合計画策定のため職員アンケートを実施しており、幅広く意見を聞いている。

A 教育長

保小連携会議が設立され、保育所からことぶき大学まで、地域課題を解決していく人材の育成に、教育委員会としても取り組んでいきたい。

久保広幸 議員

森林環境譲与税等の取り扱いについて

Q 昨年の3月定例会で答弁された「税を活用した事業の検討や実施体制の確立など」の取り組みは。

A 町長

まだ、国からのガイドライン等も示されておらず、内容は決まっていない。

Q 森林環境譲与税を財源とする森林整備の実施に向け、森林組合や林業事業者等の意向をどのように把握しているのか。

A 町長

森林組合の担当者と一緒に、情報交換しているところである。

Q 北海道は、この税を新たな森林経営管理制度実施などの森林整



一般質問

備を主体とする、新規あるいは事業量を確実に増加させる施策に充てることを前提としているが、当町はこれを恒久の財源として積極的に活用しなければならぬものと考えるが。

(町長)

Q 今検討しているのは、森林の現況や要整備森林箇所の把握及び意向調査で、次に事業費を確保するための基金の積み立てが必要である。

えている。

また、木材利用の促進は、税の目的や公共性を整合させるのに準備期間が必要なため、当面は事業としない考えである。

一般住宅等への助成は本制度にそぐわないとの意見がある。

地方版総合戦略の最終年度を迎えて

Q 国が検討している第2期の総合戦略策

定の基本的な考え方は、現行の広域連携事業の拡充と考えられるが、池北三町連携やかち連携の事業の現状は。

(町長)

A 三町連携では、「地域産品販路拡大事業実証事業」「三町の地場産品を活用した新たな食ブランド構築事業」

「圏域周遊モデルルート開発事業」「拠点施設等魅力創出事業」が行われている。

とかち連携事業は「十勝アクティブシニア移住交流促進事業」「十勝イノベーションエコシステム事業」が行われている。

Q 現行計画において地方創生の目立った効果が見いだせない状況だが、これは当町が取り組めるような事業が乏しいのか、あるいは当町の受け入れ態勢が取れていないのか。

A 対象事業の基本はソフト事業である。ハード事業が申請できるのは、ソフト事業との連携によって高い相乗効果が見込めるもので他の省庁の事業で対応できない場合であり、現状では先駆性のある取り組みをするのが難しい。

Q 国の平成31年度地方創生関連予算では、140件余りの事業が提案されているが、それら

事業への取り組みは。

(町長)

A 当町が希望する事業があっても、他省庁の事業で対応できないのか、ソフト事業との連携がどうなっているのか、先駆的又は広域的な取り組みかどうかが問われるとともに、対象事業に関わる地域再生計画の作成が必要となる。

決して消極的になっていくわけではないが、事業展開は厳しい。

谷 郁司 議員

第6期総合計画策定に係る施策の取り組みは

Q 築34年が経過したしらかば苑は、新しくすることで入所希望者が増え、不足する介護職員も確保できるのではないか。

また、要介護1・2の方々が利用できる共同生活住宅の整備に、国の住

宅セーフティネット制度を利用してはどうか。

(野尻町長)

A しらかば苑の改築等については、法人と協議していかなければならない。

共同生活住宅は、第7期介護保険事業計画の中で検討するとともに、住宅セーフティネット制度の内容を把握しておきたい。

Q 近年、自然災害が多発する中、人命第一の防災として、宮の森周辺に地すべりを事前に感知できる傾斜測定器を設置してはどうか。

(町長)

A 現在、北海道が町内22か所を調査中だが、その結果をもとに地域防災計画との整合性を図り検討していく。

なお、傾斜測定器の設置には1千万円から2千万円が必要であり、今後

も調査していく。
〔次のページへ続く〕

Q 陸別町の手厚い子育て支援策として、国民健康保険の子どもの均等割を軽減してはどうか。

A (町長) 均等割の減免は、全国で25自治体が実施している。

現在、全国知事会などが国に軽減制度の導入を要望しており、今後の動向を見極めたい。ご意見として伺っております。

Q 合同墓を設置すれば、故人にゆかりのある方々がお参りに来て交流人口が増えるとともに、高齢者の方々も安心して陸別に住み続けられるのでは。

A (町長) 今回のところ町民から合同墓の設置要望は無く、町としては設置の考えはない。

墓じまいはこの5年間で43か所194体となっているが、他の自治体で

は、宗教団体に協議に応じてもらえないという実態も聞いており、もう少し時代の流れを見極めていきたい。



Q 開町100年のスローガンから考えると、複雑な「字名」の改正・整理は必須と思われる。

A 「字陸別」「字陸別原野分線」「字陸別原野基線」など非常に紛らわしい。

A (町長) 住民票には自治会名も記載しており分かりやすくしている。字名改正による高齢者の負担などを考えると優先度は高くないと考えるが、引き続き調査し、もう一度考えてみたい。

このところ町民から合同墓の設置要望は無く、町としては設置の考えはない。



Q 昨年の職員の横領事件は、人事が滞留し、適切でない職員配置により、目が行き届かなかったのでは。

A (町長) 職員にはいろいろな部署で経験を積むとともに、地域に溶け込んでほしいと思っております。

そのうえで適材適所の職員配置を考えていきたい。

渡辺三義 議員

土井沢ふれあいの森協定について

Q 協定調印の経緯と今後の利用や道路整備について伺う。

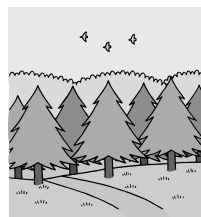
A (野尻町長) この区域は貴重な優良天然林であり、後世まで残すための協定を行い、平成16年以後、5年ごとに協定している。

このすばらしい森を多くの人に知ってもらいたい一方、環境も守りたい

ため、あまり人の手をかけずに自然の状態を保ちたい。

年数回の散策会や地域の学校の利用だけにして、将来的には自然を作る事にも取り組みたい。

道路はグレーダー等による整備のみとし、簡易舗装などは検討していかない。



議会の動き

12日 3月定例会
議員協議会

26日 議会運営委員会
(広報編集会議)

第1回臨時会
議員協議会

議会運営委員会
(広報編集会議)

次回の定例会は6月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合せ願います。

皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>